

2016年09月01日

世界初※1温度の異なる2つの温風を作り、同時に吹き分け

ルームエアコン「Eolia(エオリア) WXシリーズ / Xシリーズ」を発売

快適性と省エネ性の向上を実現

Eolia
エオリア



CS-WX407C2-W



CS-X407C2-W

品名	冷暖房・除湿タイプ インバータールームエアコン(壁掛けセパレート式)	
愛称	Eolia(エオリア)	
シリーズ名	WXシリーズ	Xシリーズ
容量	4.0~9.0 kW	2.2~9.0 kW
本体希望小売価格 (工事費別)	オープン価格	
発売日	10月下旬より順次	
月産台数	シリーズ計 2,000台	シリーズ計 25,000台

パナソニック株式会社は、当社独自の人の「暑い」「寒い」の感覚を見分ける温冷感センサーに加えて世界初※1温度の異なる2つの温風を作り、その異なる温風を同時に吹き分けることにより、快適性と省エネ性が向上したルームエアコン「エオリア」WXシリーズ / Xシリーズを10月下旬より順次発売します。

2015年に搭載した温冷感センサーは、人の「暑い」「寒い」の感覚を見分けて個別に快適な温度空間を実現し、高い評価を頂きました。一方で、複数の人を同時に快適にするためには、これまでの気流システムでは限界がありました。

本製品は、1つの熱交換器で温度の異なる2つの温風を作り出す世界初※1のダブル温度熱交換器を搭載し、その異なる温度の温風を同時に吹き分ける新開発のダブル温度気流システムにより、速く無駄なくその人にあった快適な温度空間を作ることが可能になりました。また、従来品比10倍※2のOHラジカルを生成する「ナノイーX」を搭載し、エアコン内部の清潔性や部屋の空気環境の向上を実現します。さらに「人がふれる空気の清潔さや快適な温度にもっとこだわりたい」との意味をもたせ、当社エアコン事業開始から60周年を迎える本製品の愛称に、ギリシャ神話で「風の神」の語源をもつ「エオリア」を採用しました。

当社は、本製品により省エネ性・快適性・清潔性が向上した上質ですやかな室内空間を提案します。

<特長>

1. 世界初※1温度の異なる2つの温風を作り、同時に吹き分け快適性と省エネ性の向上を実現
2. 「ナノイー^(エックス)」で、エアコン内部も部屋の空気もキレイ
3. 蓄熱効率を向上した新エネチャージシステム搭載で、霜取り時の体感温度の変化を低減

※1:2016年10月21日発売予定 家庭用エアコンにおいて(当社調べ)

※2:「ナノイー」:毎秒4,800億個と「ナノイー-X」:毎秒4兆8,000億個との比較。ESR法による測定(当社調べ)

【お問い合わせ先】

パナソニック エアコン ご相談窓口
フリーダイヤル 0120-878-692(受付9時から20時)

【特長】

1. 世界初※1温度の異なる2つの温風を作り、同時に吹き分け快適性と省エネ性の向上を実現

昨年搭載した世界初※3の温冷感センサーは、人が「暑い」と感じているのか「ちょうどいい」「寒い」と感じているのかを見分け、暖房の場合「暑い」と感じている人には温風を届ける時間を短かく「ちょうどいい」「寒い」と感じている人には温風を届ける時間を長くするように、温風を届ける時間差で快適な温度空間を作っていました。

本製品は、新開発の可変圧力弁により世界で初めて※1異なる2つの温度を作る「ダブル温度熱交換器(暖房時最大約10℃差※4)」と、新開発の「マルチ・ビッグフラップ」「マルチ・ルーバー」を搭載した「ダブル温度気流」システムで、温度の異なる2つの温風を同時に吹き出すことが可能になりました。これにより「暑い」と感じている人「ちょうどいい」「寒い」と感じている人、それぞれに応じた温風を同時に届けることで、より速く無駄なく快適な温度空間を実現します。



2. 「ナノイー-X」で、エアコン内部も部屋の空気もキレイ

「ナノイー」は空気中の水に高電圧を加えて生成されるナノサイズの微粒子イオンです。本製品は、ナノイーデバイスの放電部を改良し、花粉などの抑制効果を発揮するOHラジカルを10倍※2生成する新デバイス「ナノイー-X」を搭載しました。従来の除菌効果に加えて、生活5大臭の脱臭に対応し、特にタバコのニオイは10倍※5(当社調べ)の脱臭スピードを実現しました。また、花粉は日本全国の花粉を無力化します。さらに、内部クリーン機能と合わせて、エアコン室内機内部のカビの成長を抑制※3し、吹き出す風をキレイにすることで快適な空気環境を実現します。

水から生まれた次世代健康イオン



実使用空間での実証効果ではありません。
設置環境、使用状況により効果は異なります。

生活5大臭を脱臭

タバコ臭※1 ペット臭 生乾き臭 焼肉臭 汗臭

※1:約6畳空間での約12分後の効果です。※6

日本全国の花粉を一年中無力化※2

※2:約6畳空間での約24時間後の効果です。※7

本体内部のカビの成長を抑制※3

※3:すでに付着してしまった汚れやカビを取り除く機能ではありません。※8

3. 蓄熱効率を向上した新エネチャージシステム搭載で、霜取り時の体感温度の変化を低減

2010年から搭載している「エネチャージシステム」は、室外機から大気中に排出していた熱を蓄熱ユニットに蓄え、この熱を霜取運転中に活用することで、霜取運転中でも、温風を止めない『ノンストップ暖房』を実現しています。本製品では、圧縮機の新駆動制御や、配管の投入量を増量し蓄熱槽からの熱取り出し速度をアップすることで、霜取運転の時間短縮と共に室温変化を1℃以下※9に抑えました。これにより、霜取時の体感温度の変化を低減します。



【その他の特長】

- フィルター自動お掃除時間を従来品比4分の1 ※10の約15分に短縮
- 0.5℃単位の温度設定が可能(16℃～30℃)
- インターネット接続用の無線アダプターの室内機への取り付けが、お客様で可能になりました

【需要動向】

(当社調べ)

年度	2014年度	2015年度	2016年度(見通し)	2017年度(予測)
エアコン	809万台	817万台	790万台	800万台

【仕様一覧】

■WXシリーズ

		品番	電源 (相-V)	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	色
冷暖房除湿 タイプ インバーター	壁掛け セパレート式	CS-WX407C2	単-200	4.0	5.0	-W (クリスタルホワイト)
		CS-WX567C2	単-200	5.6	6.7	
		CS-WX637C2	単-200	6.3	7.1	
		CS-WX717C2	単-200	7.1	8.5	
		CS-WX807C2	単-200	8.0	9.5	
		CS-WX907C2	単-200	9.0	10.6	

■Xシリーズ

		品番	電源 (相-V)	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	色
冷暖房除湿 タイプインバーター	壁掛けセパレート式	CS-X227C	単-100	2.2	2.5	-W (クリスタルホワイ ト)
		CS-X257C	単-100	2.5	2.8	
		CS-X287C	単-100	2.8	3.6	
		CS-X367C	単-100	3.6	4.2	
		CS-X407C	単-100	4.0	5.0	
		CS-X407C2	単-200			
		CS-X567C2	単-200	5.6	6.7	
		CS-X637C2	単-200	6.3	7.1	
		CS-X717C2	単-200	7.1	8.5	
		CS-X807C2	単-200	8.0	9.5	
		CS-X907C2	単-200	9.0	10.6	

- ※3:2015年10月21日発売 家庭用エアコンにおいて、からだの放熱量を見て、独自のアルゴリズムで人の「暑い」「寒い」を見分ける技術。(当社調べ)
- ※4:当社測定基準による。CS-WX407C2、当社環境試験室(14畳)外気温2℃、暖房運転、設定温度25℃「センサー」設定時。室温安定時、エアコン熱交換器の可変圧力弁上流側(2相域)と下流側(2相域)の温度差を比較。
- ※5:「ナノイー」:120分で臭気強度1.2低減と「ナノイーX」:12分で臭気強度2.4低減、との比較。●脱臭効果は、周囲環境(温度・湿度)運転時間・臭気・繊維の種類によって異なります。
- ※6:【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】試験室(約6畳)において6段階臭気強度表示法により検証【脱臭の方法】ナノイーを放出【対象】付着したタバコ臭【試験結果】12分で臭気強度2.4低減。
- ※7:<スギ>【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】約6畳の試験室内で、布に付着させたアレル物質をELISA法で測定【抑制の方法】ナノイーを放出【対象】花粉(スギ)【試験結果】8時間で97%以上抑制、24時間で99%以上抑制(4AA33-151001-F01)<スギ・ヒノキ・カモガヤ・ブタクサ・ススキ・シラカンバ・ヨモギ・オリーブ・ビャクシン・モクマオウ・ハンノキ・オオアワガエリ>【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】約6畳の試験室内で電気泳動法による検証【抑制の方法】ナノイーを放出【対象】花粉(スギ・ヒノキ・カモガヤ・ブタクサ・ススキ・シラカンバ・ヨモギ・オリーブ・ビャクシン・モクマオウ・ハンノキ・オオアワガエリ)【試験結果】24時間で低減効果を確認(No.4AA33-151015-F01、4AA33-151028-F01、No.4AA33-160601-F01、4AA33-160601-F02)
- ※8:【試験機関】環境生物学研究所【試験方法】環境試験室(約6畳)での試験。エアコン内部にカビセンサーを設置。室温25℃、湿度70%で、内部加熱・乾燥有無の条件で、冷房運転を1日2時間、4日間実施し、カビセンサーの菌糸長を比較【抑制の方法】エアコン内部の加熱と乾燥【対象】エアコン内部に付着したカビ【試験結果】カビ菌糸の成長抑制効果あり。No.141104
- ※9:当社環境試験室(14畳)外気温2℃、設定温度23℃、風量・風向自動、室温安定時。
- ※10:フィルター自動お掃除時間の比較。2015年発売WXシリーズ約60分、新製品WXシリーズ約15分。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。